

陳情方法改めます

細野議員、7市町首長と意見交換 「県連、党経て国へ」説明



地元首長との意見交換会で要望事項への対応を説明する細野議員＝三島市役所で

静岡5区の細野豪志衆院議員と選挙区7市町首長との意見交換会が21日、三島市役所で開かれた。地元の要望・陳情の取り扱い、平成22年度予算編成に向けた地元要望事項などについて意見交換し、今後も意見交換会を年3、4回のペースで定期開催していくことを確認した。

同日は7市町のトップが顔をそろえた。あいさつで開催地三島市の小池政臣市長は「陳情の方法が変わっている。細野議

員には地元要望を国政に反映させるよう活動してほしい」などと述べた。細野議員は、政官癒着の排除と利益誘導型政治からの脱却を目指して従来型の陳情を改め、国会議員が地元要望を取りまとめ、県連、与党の組織委員会を経て国に上げる新たな陳情の流れを説明。5区選出の国会議員の立場からは「予算の制約もあり厳しいことを言わなければならぬ場合もあるだろうが、要望実現のために最大限の努力をす

る」と約束した。

意見交換では、各首長が来年度予算を見据えた施策などを要望した。小池三島市長、望月良和伊豆の国市長、芦沢伸行函南町長は、東駿河湾環状道路（伊豆縦貫道）と狩野川治水事業の整備促進、伊豆地区の観光振興、まちづくり交付金制度の充実などを求めた。当初計画通り平成24年度末の完成を求める駿河湾環状道路について細野議員は「重要施策」と従来の考えを繰り返し説明し、伊豆中央道への接続を早期に実現させるとした。

県内各市町の要望は県連が今月中に取りまとめ、政府与党に上げる予定という。